

1

$$(1) \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} -2 \\ 2 \\ 1 \end{pmatrix}$$

(2) 連立方程式の拡大係数行列 $\left(\begin{array}{ccc|c} 1 & -1 & 1 & 5 \\ -1 & 0 & 3 & -4 \\ 1 & 2 & 7 & 3 \end{array} \right)$ は行に関する基本変形により

$$\left(\begin{array}{ccc|c} 1 & 0 & 3 & 4 \\ 0 & 1 & 2 & -1 \\ 0 & 0 & 0 & 1 \end{array} \right)$$

となる。この行列の第3行は $0 = 1$ を意味し、矛盾する。つ

まり、この連立1次方程式は 解を持たない。

$$\text{または, } \left[2 = \text{rank} \begin{pmatrix} 1 & -1 & 1 \\ -1 & 0 & 3 \\ 1 & 2 & 7 \end{pmatrix} < \text{rank} \begin{pmatrix} 1 & -1 & 1 & 5 \\ -1 & 0 & 3 & -4 \\ 1 & 2 & 7 & 3 \end{pmatrix} = 3 \right] \text{ だから}$$

「解を持たない」でもよい。

$$(3) \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} -2 \\ -1 \\ 0 \end{pmatrix} + k \begin{pmatrix} -6 \\ -3 \\ 1 \end{pmatrix} \quad (\text{ただし, } k \text{ は任意の実数})$$

2

$$(1) \det(A) = -4$$

(2) B は係数行列 A の第2列を定数項ベクトルに置き換えた行列である。したがって、

$$B = \begin{pmatrix} 2 & 1 & 3 \\ -1 & 2 & 1 \\ 1 & 2 & 1 \end{pmatrix}$$

特別問題 拡大係数行列 $\left(\begin{array}{ccc|c} 2 & 1 & 3 & 1 \\ 0 & -1 & 1 & k \\ 1 & 1 & 1 & 2 \end{array} \right)$ は行基本変形により、 $\left(\begin{array}{ccc|c} 1 & 0 & 2 & k+2 \\ 0 & 1 & -1 & -k \\ 0 & 0 & 0 & k+3 \end{array} \right)$

と変形される。この連立方程式が解をもつためには、第3行が $(0 \ 0 \ 0)$ となる必要がある。したがって、求める条件は $k = -3$ 。